



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎宏太郎  
編集責任者 広報委員長 高橋浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

## 終わりと始まり

美容歯科 科長 真鍋 厚史

3月に入り今までやってきたことを終了する人、そして来月から新しいことを始める人この年度末は何かと落ち着かない時期です。私どもの美容歯科でも医局の先生方がおやめになっていく寂しい季節でもあります。このたび私の上司である東光照夫先生が定年退職されることになりました。めでたくなのか残念なのか非常に複雑な気持ちでいっぱいです。東光先生は私より一学年先輩で、東京医科歯科大学を御卒業後直ちに故 和久本貞雄初代教授の歯科保存学第二講座へ助手として入局されました。それから30年の月日が流れて今日に至っております。東光先生は臨床、研究、教育とどれをとっても非常に緻密かつ綿密な計画と実行力をお持ちで、特に臨床、研究では日本で初めて歯のホワイトニングを導入され、白くなるメカニズムの解析や処置後の副作用、歯質接着など様々な因子について多数の学会発表、論文を出されてきました。また、日本歯科審美学会と日本歯科色彩学会では理事等の要職もお務めになられ取りも直さずホワイトニングを日本に普及させた歯科審美の牽引車といっても過言ではありません。学生に対する講義も実習も丁寧かつわかりやすく学生、研修医からも信頼された先生でした。このような先生がご退職されることはまさに昭和大学歯科病院の損失ともいえます。ともあれ今後は東光先生の意思やお考えをさらに発展させるよう私たちが努力しなければならぬと思っております。

東光先生、本当に長い間ホワイトニングを中心とした歯科審美、そして保存修復学の講義、実

習おつかれさまでした。4月からはまた先生の大好きな趣味等を思う存分謳歌し、体調管理に勤められ、今後またまには大学の方へ足を運んでいただき我々後輩に良きアドバイスを頂けたら幸いです。

下の写真は二枚とも東光先生が新人のとき医局旅行と保存学会出席時に撮ったスナップ写真です。



左側が東光先生



右上が東光先生

## モネとMFA

1992年8月、私はボストン美術館(Museum of Fine Arts, Boston以下MFA)の年間入場券を購入しました。MFAの隣のブロックに建つForsyth Dental Centerに1年間留学する機会があったからです。MFAはアメリカ建国100周年の1876年に開館、所蔵点数は50万点、その中にはフランス印象派の絵画も多数所蔵されている著名な美術館です。印象派を代表するフランスの画家「クロードモネ」は日本でも人気があります。つい先日、国立西洋美術館で「モネ、風景を見る眼 19世紀フランス風景画の革新」というモネ展が開かれていました。モネは時間と季節で変化する戸外の光と色の表現を生涯追求し続けた画家です。連作で有名な「睡蓮」は名作中の名作でしょう。モネが好んで描いた題材です。普段は混んでいる印象派絵画の部屋でも朝の時間だと人が全くいないことがあります。私は、年間入場券で好きな時間に入館でき一人で独占的に素晴らしい作品群を見ることが何回かありました。この幸福感は、なかなか味わえません。至福という言葉とはこういうことかと思いました。良い美術館には良い作品、良い展示法と良い照明は不可欠です。高い天井の半透明の大きな窓から入るニューイングランドの光でみるモネの絵は格別でした。季節と時間帯によって作品の印象が変わります。この作品が描かれた時間、屋外で写生しアトリエで仕上げたのか、その季節や時間帯、最後のタッチは作品のどの部分か、などなどじっくり鑑賞できたのは幸福の極みでした。

ボストン留学はMFAの印象派絵画をみて惚けていただけではありません。Forsyth Dental Centerでは、ハーバード大学歯学部でドーゴン教授のもとで、当時最新の歯科材料だったレジン添加型光重合ガラスアイオノマーセメントの研究をしました。この材料は後に「ビトレマー」として商品化されまし

た。材料の歯髄刺激性を検討するために、毎週水曜日には、ニューイングランド・プライメートセンター(動物、特に猿に対する実験施設)で、猿の歯にこの材料を充填し歯髄反応を調べました。このプライメートセンターはボストン郊外にあり広大な敷地を有する大きな施設です。アメリカが凄いのは共通に使える実験施設で、系統的に材料の試験や生体への反応を調べられることでしょう。

そのようなボストン時代から22年が経過し、32年間勤務した昭和大学の勤務を終えることになりました。入局当時は保存修復学が専門領域でしたが、時代は流れ歯科における審美的な重要度が

高まりました。審美歯科の定義は「歯(口腔)の形態美、色彩美、機能美の調和を保ち人々を幸福に」とされています。審美的な治療では、形態学、黄金比、歯の色彩、歯肉の色、口腔機能などなど計測や分析で得られる科学的な知識を得て日常臨床に生かすのは当然です。MFAで感じ取ったことは、知識や技術としての審美のみならず、さらに上位概念である不変の美しさを感じ取る力も必要であり、美しい作品を好きなように鑑賞し、美意識を育む時間、気持ちのゆとりが大切だと言

うことでした。退職するにあたり、この素晴らしい体験を持たせてくれた昭和大学に感謝し、後を引き継ぐ諸先生のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

美容歯科 講師 東光 照夫



歯磨きは日常の中で習慣として定着しています。歯ブラシだけでは十分に汚れが落とせない部分は補助的清掃用具を使用することをお勧めします。

今回は、一般的な補助的清掃用具、電動歯ブラシについてご紹介します。

①歯間ブラシ



- ・歯と歯の間を磨くために使用する
- ・隙間の大きさに合わせてサイズを選択する
- ・隙間に挿入したら歯面に当て往復運動をする

②デンタルフロス



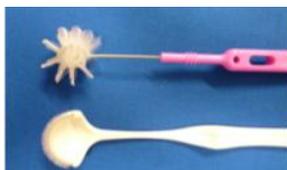
- ・歯と歯の接している所を清掃するために使用する
- ・歯と歯の間に糸をあてがいゆっくりと動かし挿入する。その後、歯の側面に糸を添わせて汚れを取り除く。

③タフトブラシ



- ・歯と歯の間や歯の溝、1番奥の歯の後ろの面などを磨くために使用する
- ・毛先は一束になっていて磨きたい場所にピンポイントに届くため汚れを除去する効果が高い

④舌ブラシ



- ・舌の上に付着した汚れ(舌苔)を清掃するために使用する
- ・舌にブラシを当てて表面を軽く奥から手前にかき出すように拭って使用する

⑤スポンジブラシ



- ・口腔粘膜や舌、上あごなどの清掃に使用する
- ・そのまま使用すると粘膜を傷つける恐れがあるので水分を十分に含ませ、よく絞ってから使用する
- ・汚れを奥に押し込まないように奥から手前に向かって拭う

⑥電動歯ブラシ



- ・手用の歯ブラシと比較して短時間で効率よく磨くことができる
- ・種類によって動かし方や当て方など使用方法が多少異なる

お口の健康を保つために歯磨きはとても大切です。お口の中の状態によって磨き方や使用する歯ブラシ、補助的清掃用具は異なります。誤った使用方法はかえって歯や歯肉を傷つけてしまいます事があります。より良いお口を保つ為に正しいブラッシング方法を習得しましょう。

ご不明な点がございましたら歯科医師・歯科衛生士にご相談下さい。

## 患者満足度調査(速報)について

患者満足度調査を2月1日(土)～2月5日(水)を行いました。1,560名の方からご回答を得ました。調査に、ご協力して頂き有難うございました。

事務課



### 患者満足度調査結果(速報版)

日程	時間	外来患者数(人)	回収枚数(枚)	回収率(%)
2月1日(土)	9:00-13:00	681	374	54.9%
2月3日(月)	9:00-17:00	826	332	40.2%
2月4日(火)	9:00-17:00	895	357	39.9%
2月5日(水)	9:00-17:00	983	497	50.6%
合計		3,385	1,560	46.1%

## 患者さん対象 インプラント治療に関する説明会のお知らせ

インプラント治療について、わかりやすく御説明いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

第26回

日時:平成26年4月22日(火)正午～午後1時

第27回

日時:平成26年5月27日(火)正午～午後1時

会場:昭和大学歯科病院 6階 第2臨床講堂

参加費:無料 当日直接会場へお越し下さい。

(事前申し込み不要)

演者:昭和大学歯科病院インプラントセンター  
センター長 尾関 雅彦 教授

事務課



## 編集後記

あっという間に年度末を迎えました。三寒四温でどんどん春の日差しも増し、ソメイヨシノの蕾もピンク色がちらほら。この編集後記を皆様をご覧になる頃には洗足池の桜は満開か、散り始めか、あるいは葉桜か。1年で本当に短いですね。「少年老い易く学成り難し」が身に滲みる中年Tです。東光先生お世話になりました。

(K.T)

